



新潟県

教育月報 5月号

第854号
令和3年5月6日発行
編集人、発行人
新潟県教育委員会

＜今月号の記事＞

		対象校種
1 : 教育ニュースライン	----- P 1	全種
2 : 実践力向上研修、要請訪問研修、相談支援について	----- P 2 ~ 4	全種
3 : 地域との連携・協働等を推進する研修会	----- P 5	全種
4 : 佐渡金銀山の世界遺産登録に向けて	----- P 6	全種
5 : 埋蔵文化財を活用した高校生向け出前授業について	----- P 7	高校
6 : インフォメーション	----- P 8 ~ 9	全種

教育ニュースライン

県教育に関する最新ニュースをお知らせします。

令和3年度全国高等学校総合体育大会のカウントダウンボード除幕式を行いました

新潟県開催までちょうど100日前となった4月15日(木)、新潟県実行委員会会長のほか、製作に携わった県立新潟工業高等学校の3年生3名、指導した教諭2名が出席し、カウントダウンボードがお披露目され、県庁正面玄関に設置されました。幅75cm、高さ180cmの杉材が使用されたボードには、LEDの電光掲示板が取り付けられ、7月24日(土)開幕までの日数が表示されます。



【除幕式の様子】

カウントダウンボードは県庁のほか、種目別競技大会の開催4市においても、県内の高校が製作したボードが設置されます。

カウントダウンボード設置場所と製作校

- 新潟市：新潟市東総合スポーツセンター（新津工業高校）
- 長岡市：シティホールプラザ アオーレ長岡（長岡工業高校）
- 上越市：謙信公武道館（上越総合技術高校）
- 糸魚川市：糸魚川市役所（糸魚川白嶺高校）

＜大会公式ホームページURL＞

<http://www.koukousoutai.com/2021soutai/>

佐渡金銀山の世界遺産推薦書原案改訂版を国へ提出しました

県と佐渡市は、佐渡金銀山の令和3年度の国内推薦実現を目指し、3月31日(水)に推薦書原案の改訂版を文化庁へ提出しました。

また、4月13日(火)には知事と佐渡市長が国の議員連盟とともに、内閣官房長官や文部科学大臣等に対して、早期の推薦実現を求める要望活動を行いました。



【要望活動の様子】

実践力向上研修、要請訪問研修、相談支援について 県立教育センター

はじめに

県立教育センターでは、基本研修や専門研修のほかに、実践力向上研修、要請訪問研修、相談支援をおこなっています。

本号では、それぞれの研修の概要と令和2年度の各研修・支援の実施状況を紹介します。

実践力向上研修

1 概要

実践力向上研修は、学校・園の要望に応じて、指導主事を当該校・園に派遣し、校・園内の研修を支援するもので、指導主事の派遣に係る旅費は、当センターが負担します。

「教科指導」「特別支援教育」「教育相談」等に関する自校・園の課題や深めたいテーマ等について講義、演習等を行い、実践的な指導力を高めます。

また、Zoom等のオンライン会議システムを活用した研修にも応じます。

本研修の詳細や申込み方法等については、当センターWebサイト「各種支援活動」のページを御覧いただくか、当センター教育研究班（電話：025-263-9028）にお問い合わせください。

ここでは、令和2年度の実践力向上研修で実施した「小学校（社会）」「中学校（特別の教科 道徳）」「高等学校における通級による指導」の事例を紹介します。

2 小学校（社会）

(1) 目的

社会的事象の特色や相互の関連を多角的に考え、単元をとおして問い続け、学びを深める児童を育成する授業づくりを推進する。

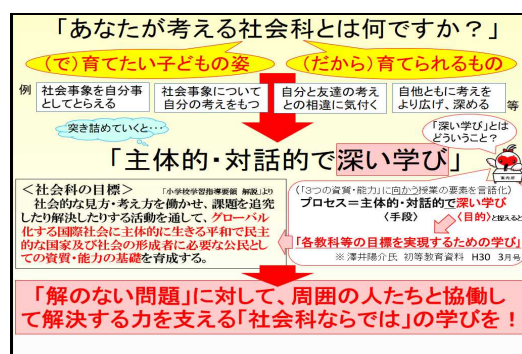
(2) 実施した学校

柏崎市立内郷小学校、関川村立関川小学校

(3) 研修内容

研究授業、協議会、研究授業の指導をとおして①学習指導要領が求める社会科の学習（「主体的・対話的で深い学び」で育む社会科の資質・能力の具現化）、②児童生徒の具体的な学びの姿を実現する方策（単元構成、教材資料、発問、言語活動）の2点を軸に、本授業での「ねらい」や「具体的方策」について全体での共通理解を図りました。

(4) 受講者の感想



【研修の講義資料】

- ・じっくりと中身の濃い研修をしていただき、今後の実践への意欲につながりました。
- ・地域のことを題材にした単元の構成について、本日の講義をヒントに、児童が見方・考え方を働かせる授業を目指します。

3 中学校（特別の教科 道徳）

(1) 目的

授業参観と研究協議を通じて、指導力の向上を図る。また、道徳的価値の理解を深めるための効果的な指導方法を学ぶ。

(2) 実施した学校

加茂市立七谷中学校



(3) 研修内容

- ・多面的・多角的な思考を促し、授業のねらいを達成するためにどのような指導法が有効であるかについて、協議を行いました。
- ・タブレット端末や学習支援動画を活用した研究授業を参観し、その後、指導主事を交えて協議を行いました。

(4) 受講者の感想

- ・教職経験年数を問わず、実践に活用できる研修になりました。
- ・本校が実践している小中連携の意義を評価していただき、ありがたかったです。



【協議の様子】

4 高等学校における通級による指導

(1) 目的

高等学校における自立活動の授業づくりに関する支援を行う。

(2) 受講者

県立荒川高等学校の通級指導担当教諭

(3) 研修内容

- ① ティームティーチングにおけるサブティーチャーの関わり方や、具体的な指導方法、評価を行う際の見取り方等について協議を行いました。
- ② 参観した授業を踏まえて、生徒個々の目標や具体的支援を追加した模擬授業を行い、その際の映像を見ながら、目標を意識した授業づくりや支援のポイントを確認しました。それにより、受講者の気付きや新たな視点が得られました。
- ③ 前期の評価について当センター所員と一緒に研修を行い、前期評価及び後期目標設定について助言等を行いました。

(4) 受講者の感想

- ・研修を通じて、教師や生徒同士のよい関わりが増え、学習に対して積極的に取り組む姿が多く見られるようになりました。
- ・生徒に、自立活動で学んだスキルを学校生活に活かそうという姿勢が見られました。

要請訪問研修

学校・園及び教育機関の要請に応じて指導主事が現場を訪問し、研修会の講師や研究協議会の委員等として指導助言を行います。対象分野は特に定めず、依頼先の要請に幅広く対応しています。

【申込】電話で県立教育センター教育支援課長に依頼

【電話】025-263-9033

【対象】県立学校、市町村立学校・園（新潟市を除く）市町村教育委員会、教育関係研究会等の要請による教職員の研修

※ 指導主事の派遣に係る旅費は依頼者負担となります。

※ 幼児児童生徒を対象とする授業等は要請訪問研修の支援対象に含まれません。

令和2年度ICT訪問研修

昨年度実施したICT訪問研修（基本編・応用編）を紹介します。令和3年度においても、希望に応じて指導主事の派遣、訪問によるICT活用研修を実施しますので、申込みの際の参考にしてください。

1 目的

児童生徒の情報活用能力の育成と主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うため、学習指導におけるICT機器活用の基本的なスキルの向上を図る。

2 対象者

市町村教育委員会が指定した者（小・中・特別支援学校教諭等）

3 研修内容

【基本編】

- ・ Google ClassroomやFormsを使用した演習
- ・ 大型提示装置、電子黒板の活用方法
- ・ 学習支援動画の作成、授業での活用方法
- ・ ロイロノート・スクール等の授業支援アプリの活用法
- ・ YouTubeライブの配信の方法 他

【実践編】

- ・ ICT機器を活用した授業の実践紹介
- ・ 勤務校のICT活用推進に向けた協議 他



【講義の様子】

4 受講者の感想

- ・ 機器等の導入前に研修できたことは、先を考えるとすごくプラスでした。
- ・ 早く授業で使ってみたいと思いました。

相談支援

いじめ・不登校等のほか、生徒指導上の問題、特別支援教育、心身の健康教育等、教育上の様々な悩みごとについて、電話や来所・訪問等、様々な形態で相談支援を行っています。令和2年度は2月時点までで800件の支援を行いました。

1 いじめ・不登校等教育相談

○いじめ・不登校等悩み事相談テレフォン
(電話による支援です)

【電話】025-263-4737

【受付】午前9時10分～午後4時

○教育相談

(電話・来所・訪問の支援があります)
生徒指導上の問題をはじめとする、

教育上の様々な悩みごとの相談

【電話】025-263-9029

【受付】午前9時～午後5時

2 特別支援教育相談

(電話・来所・訪問の支援があります)

特別な支援を要する幼児児童生徒に関わる様々な悩みごとの相談

【電話】025-263-9030

【受付】午前9時～午後5時

3 心身の健康教育相談

○ほけんしつハートダイヤル

(電話による支援です)

心身の健康に関する悩みごとの相談、保健室執務や健康教育に関する支援や情報提供

【電話】025-263-9032

【受付】午前9時～午後5時

※ 1～3ともに、幼児、小学生、中学生、高校生及びその保護者や学校・園の教職員等を対象とし、祝日、年末年始、お盆の時期を除く月曜～金曜の上記時間に受け付けます。

※ 来所の支援について

・事前の予約が必要です。まずは相談したい内容に該当する電話番号にお電話をください。

・平日に来所できない学校・園の教職員を対象に、5月から11月の土曜日も相談できます(7月第4土曜日から8月末までは除く)

※ 詳細は、県立教育センターWebページ「各種支援活動」を参照してください。

(<https://www.nipec.nein.ed.jp>)

おわりに

各学校・園が教育目標を具現化するためには、自校の教育課題を把握した上で、課題解決に向けて組織として取り組むことが大切です。県立教育センターは、今後も、学校・園の希望を踏まえ、各校の実情に応じて校内研修を支援します。

県立教育センターの研修支援と相談支援を是非御活用ください。



地域との連携・協働等を推進する研修会

県立生涯学習推進センター

はじめに

当センターでは、地域と学校の連携・協働や家庭教育支援等を推進するために、様々な学習機会の提供や紹介を行っています。教職員の皆様には、以下の研修会に御参加いただき、教育活動の充実にお役立てください。

地域連携コーディネーター養成スクール

地域学校協働活動に係る知識と理解を深めるとともに、学校・家庭・地域の連携・協働を推進するために必要となる資質と能力の向上を図ります。教職員も参加対象です。

【県立生涯学習推進センター】

① 6月10日 ② 7月13日 ③ 9月17日

【刈羽村生涯学習センター「ラピカ」】

① 6月8日 ② 7月6日 ③ 9月16日

地域連携研修会

地域連携担当教員や地域と連携した教育活動を実践する教職員として、社会教育や生涯学習の現状や地域との連携・協働の必要性、校内での役割を講義と事例から学びます。

● 6月2日（県立生涯学習推進センター）

● 6月3日（長岡市中央公民館）

地域とともにある学校づくり研修会

地域とともにある学校づくりのために、地域連携担当教員が活躍できる環境づくりや地域との連携・協働を推進する学校経営について学び、管理職や行政担当者としてのリーダーシップとマネジメント力の向上を図ります。

● 7月9日（県立生涯学習推進センター）

※一部オンライン研修

家庭教育支援基本研修会

家庭教育に関する理論や技法について研修を行い、地域の家庭教育を支援する人材を養成します。

● 5月11日（県立生涯学習推進センター）

※一部オンライン研修

家庭教育支援者養成研修会

身近な地域における家庭教育支援を推進するため、家庭教育講座等で講師やサポーターとして指導できる人材を育成します。

【県立生涯学習推進センター】

【長岡市中央公民館（サテライト会場）】

① 6月15日 ② 7月12日 ③ 9月10日

コミュニティ・スクール研修会

コミュニティ・スクールの趣旨や取組等について、導入市町村の実践紹介や情報交換を通して学び、取組の一層の充実を図ります。

● 11月16日（県少年自然の家：胎内市）

おわりに

子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える問題は複雑・困難化しており、地域との連携・協働の重要性が指摘されています。子どもや学校が抱える課題の解決や未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには、学校を核とした地域総掛かりによる教育の実現が不可欠です。

地域との連携・協働等に関する御相談や情報提供、研修会講師の紹介も行っていきます。いつでもお気軽にお問い合わせください。

県立生涯学習推進センター

TEL 025-284-6110（代表）



佐渡金銀山の世界遺産登録に向けて

文化行政課

はじめに

佐渡金銀山は、金銀を豊富に産出し続けた我が国を代表する鉱山であり、当時の金銀生産に関わる伝統的な技術や人々の暮らしを「タイムカプセル」のように今に伝える、世界に誇る我が国の宝です。

県と佐渡市は、この歴史的遺産を人類共通の財産として守り、次世代へ継承していくため、世界文化遺産の登録を目指して取組を進めています。

世界遺産登録への取組

佐渡金銀山は、平成22年度に世界遺産暫定一覧表に記載され、正式な世界文化遺産候補となりました。

ユネスコへの推薦を目指し、平成27年度から挑戦してきましたが、残念ながらこれまで推薦は実現していません。しかし、佐渡金銀山の推薦書案について国文化審議会では、顕著な普遍的価値がより分かりやすく表現されているなど一定の進捗が見られるとし、今年度の推薦候補として「最有力」との見方を示しています。

ガイダンス施設「きらりうむ佐渡」

平成31年4月に、佐渡市相川にガイダンス施設「きらりうむ佐渡」がオープンしました。映像や展示で金銀生産の様子を分かりやすく紹介しています。



【「きらりうむ佐渡」の展示室の様子】

出前授業の実施

県では、佐渡金銀山の歴史や価値を県内の小・中学生に伝えるため、出前授業を実施しています。令和2年度は県内の79校の小学校で実施しました。

授業ではこんなことをお話しします。

- ◇ 世界遺産って何？
- ◇ 佐渡金銀山は、全部でいくつある？
- ◇ どうやって金や銀をとっていたの？
- ◇ 江戸時代だけじゃない？今も残る明治以降の近代化遺産を知ろう！ など

4月に市町村教育委員会をとおして、各学校に案内を配布しています。

通年で実施していますので、修学旅行の事前学習としての活用のほか、社会科の授業や総合学習などに幅広く御活用ください。



【講師が持参する佐渡小判（複製品）に子どもたちは目を輝かせ、毎回盛り上がりを見せています】

おわりに

世界遺産登録は、貴重な歴史遺産を未来へ引き継いで行くことが目的です。将来、遺産を守り伝えていく役割を担う子どもたちに、教育活動を通じて佐渡金銀山の価値を伝えていけるよう、御協力をよろしくお願い致します。

文化行政課世界遺産登録推進室
TEL 025-280-5726 FAX 025-280-5764



埋蔵文化財を活用した高校生向け出前授業について

文化行政課

はじめに

文化行政課では、ふるさとを愛する心と郷土の貴重な宝である文化財愛護の精神を醸成するため、文化財を活用した高校生対象の出前授業を実施しています。新潟県の埋蔵文化財（遺跡）や史跡、考古学や歴史学の魅力を知る機会を提供することで、郷土愛を軸としたキャリア教育の推進に寄与できればと考えています。

本号では、出前授業について紹介します。

授業の内容

出前授業では、文化財専門調査員が新潟県内における発掘調査の最新の成果、郷土の遺跡・遺物（石器や土器等）を基に、新潟県の歴史や文化をお伝えします。埋蔵文化財として主に取扱う旧石器時代から戦国時代の各時代における新潟県の特徴や、普段は博物館のケースに収められていて触れることができない県内出土の「本物の土器・石器」を実際に手に取りながら、観察のポイントと、そこから読み取れる情報を解説します。内容充実の15メニューを用意しており、学校の要望に応じて適宜アレンジしながらの実施も可能です。

授業メニューも充実！たとえば・・・

- ◇ 遺跡や遺物から昔の新潟の姿、日本海交流の様子を探る
- ◇ 古代人の衣食住
- ◇ 発掘成果からみる原始時代の精神世界
- ◇ 奈良・平安時代の新潟の社会
- ◇ 地域に残る古代の荘園
- ◇ 仕事を考える！文化財専門職員という仕事

・・・など、15のテーマからお選びください

地域の遺構や遺物等の歴史資料に触れながら、通常授業の発展や補足としての活用のほか、「文化財専門職員という仕事」「遺跡の発掘調査とは」など、キャリア教育と組み合わせた総合学習などに幅広くご活用ください。

県文化行政課ホームページにテーマ一覧及び出前授業申込書を掲載しております。

【ホームページアドレス】

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/bunkagyosei/>



なお、令和元年度は、新潟高校、高田高校安塚分校（2回実施）の合計106名の生徒を対象に出前授業を実施しました。



おわりに

当課では、今後も出前授業を通じて、魅力ある新潟県の歴史を知る機会を提供していきます。その中から、文化財保護に携わる人材が育つことを期待しています。

授業の内容については、御要望に応じて柔軟に対応しています。詳細については、当課埋蔵文化財係までお問い合わせ下さい。

文化行政課埋蔵文化財係
TEL 025-280-5620

インフォメーション

●県立近代美術館（長岡市）

企画展「Viva Video! 久保田成子展」

新潟県西蒲原郡巻町（現・新潟市西蒲区）で生まれ、ニューヨークを拠点に国際的に活躍したビデオ・アーティスト久保田成子（1937-2015）の没後初、日本で約30年ぶりの個展です。代表作のビデオ彫刻をはじめ、ドローイング、資料などで初期から晩年までの活動を幅広く紹介します。



《デュシャンピアナ：自転車の車輪1、2、3》と《三つの山》の展示風景（原美術館、1992年）
撮影：内田芳孝 Courtesy of Shigeo Kubota Video Art Foundation; © Estate of Shigeo Kubota.

- 会 期 開催中～6月6日（日）
- 会 場 県立近代美術館 企画展示室
- 休館日 毎週月曜日（5月3日は開館）
- 開館時間 午前9時～午後5時
（観覧券の販売は午後4時30分まで）
- 観覧料 一般1,000円（800円）
高校・大学生800円（600円）中学生以下無料

コレクション展 第1期

[展示室1] POP ARTをめぐる旅

[展示室2] 時をかける美術

[展示室3] ほっこりするアート

- 会 期 4月13日（火）～6月13日（日）
- 会 場 県立近代美術館コレクション展示室
- 観覧料 一般430円（340円）
高校・大学生200円（160円）中学生以下無料
- ※（ ）内は有料20名以上の団体料金です。
※障害者手帳、療育手帳をお持ちの方は観覧料が免除になります。受付で御提示ください。

【お知らせ】

- ・マスクの着用にご協力をお願いします。
- ・新型コロナウイルス感染症の状況により、開催内容に変更が生じる場合もございます。最新の情報は美術館ウェブサイト等で御確認ください。

県立近代美術館
住所 長岡市千秋3丁目278-14
TEL 0258-28-4111
URL <https://kinbi.pref.niigata.lg.jp/>

●県立万代島美術館（新潟市）

【予告】

企画展「大地のハンター展 ～陸の上にも4億年～」



動物たちの「捕食」に注目し、生態系におけるその役割と重要性を解き明かす科学展覧会。大型のワニやネコ科哺乳類、フクロウ、タカなどの猛禽類、トンボやハチなど、主に国立科学博物館が誇る貴重な標本により、太古の昔から現代にいたるまでの多彩なハンターたちの起源と進化をたどります。

- 会 期 7月3日（土）～9月5日（日）
- 休 館 日 7月5日（月）、12日（月）、26日（月）、
8月2日（月）、23日（月）
- 開館時間 午前10時～午後6時
（観覧券の販売は午後5時30分まで）
- 観 覧 料 一般1,600円（1,400円）
高校・大学生1,300円（1,100円）
中学生以下無料
前売券 [一般のみ] 1,400円

※（ ）内は有料20名以上の団体料金です。
※障害者手帳、療育手帳をお持ちの方は観覧料が免除になります。受付で御提示ください。

※5月5日（水・祝）まで「芳年 激動の時代を生きた鬼才浮世絵師」を開催。5月6日（木）～7月2日（金）は展示替えのため休館します。

県立万代島美術館
住所 新潟市中央区万代島5-1 朱鷺メッセ内
万代島ビル5階
TEL 025-290-6655
URL <https://banbi.pref.niigata.lg.jp/>



●県埋蔵文化財センター

少年少女考古学教室参加者募集

少年少女考古学教室（全4回）では、学年や地域が違う仲間たちと交流しながら、土器や石器などの遺物に触れ、発掘体験をはじめさまざまな体験活動とおして、古代の人々の知恵や生活を学びます。さらに、学んだ成果をまとめ、埋蔵文化財センターで展示します。参加者募集中！

○日程：

- 第1回 7月4日(日)
「縄文時代はどんな時代？—土器作り体験—」
第2回 8月5日(木)
「遺跡に行こう！—発掘と石器作り体験—」
第3回 10月10日(日)
「縄文人の技を体験しよう！—アングイン編み体験—」
第4回 12月5日(日)
「学んだ成果を伝えよう！—まとめと作品展示—」
展示会 12月6日(月)～令和4年1月10日(月・祝)

○時間：第1・3・4回は午前9時30分～午後3時
第2回は午前9時15分～午後4時30分

○対象：小学4年生～中学3年生で、全4回に参加する方

○定員：20名（要事前申込み、先着順）

○受付：5月10日(月)～7月2日(金)

○参加無料



【土器作り体験】



【発掘体験】

●県埋蔵文化財センター

講演会（第2回～第6回）受付中

各時代の専門家が遺跡の発掘成果を織り交ぜながら歴史を解説します。

○日程：

- 第2回 5月30日(日)
演題：越後・佐渡の風土と生産力
講師：坂井秀弥氏（奈良大学名誉教授）
第3回 6月27日(日)
演題：出土品からみたお米の炊き方・食べ方
講師：小林正史氏（北陸学院大学教授）
第4回 7月11日(日)
演題：初期荘園
講師：伊藤秀和氏（加茂市教育委員会）
第5回 8月22日(日)
演題：中近世の水田と畠
講師：佐藤友子（県埋蔵文化財センター）
第6回 9月19日(日)
演題：邪馬台国時代の新潟
講師：滝沢規朗（県埋蔵文化財センター）

○時間：午後1時50分～午後3時20分

○会場：県埋蔵文化財センター

○定員：各回40名（要事前申込み、先着順）

○参加無料

新潟県埋蔵文化財センター
住所 新潟市秋葉区金津93番地1
TEL 0250-25-3981
URL <https://www.maibun.net/>

●文化行政課 世界遺産登録推進室

「佐渡金銀山世界遺産登録推進県民会議令和3年度総会」

佐渡金銀山世界遺産登録推進県民会議では、佐渡金銀山の世界文化遺産登録の早期実現と、将来にわたる価値の継承を期して、官民一体となった県民運動を展開しています。

このたび、以下のとおり令和3年度総会を開催します。当日は、総会と併せて、文化観光の推進等による観光の振興・地域経済の活性化に取り組まれている観光庁の横田氏による記念講演を予定しています。一般の方の参加も募集していますので、知人、友人、御家族等をお誘い合わせの上、ぜひ御参加ください。

- 日付 5月30日(日)
○時間 午後2時～午後4時
○会場 ホテル日航新潟 4F 朱鷺
(新潟市中央区万代島5-1)
○内容 ①総会(登録実現を求める決議等)
②記念講演
「今後の観光政策と観光資源の活用について」
○講師 講師 横田 愛氏
(観光庁観光地域振興部観光資源課
地域資源活用推進室長)
○定員 200名(事前申込制)
○入場料 無料



【相川金銀山「道遊の割戸」】

教育庁文化行政課世界遺産登録推進室

住所 新潟市中央区新光町4-1

TEL 025-280-5726

URL <https://www.sado-goldmine.jp/>

※PDFファイルで御覧の方は、下線部(Webページアドレス)をクリックすると、直接該当Webページにジャンプしますので御活用ください。

※県ホームページからバックナンバーも御覧いただけます。「新潟県 教育月報」で検索してください。

教育月報

発行所 新潟県教育庁総務課
所在地 〒950-8570
新潟市中央区新光町4番地1
TEL 025-280-5587
FAX 025-285-3766
E-mail ngt500010@pref.niigata.lg.jp
URL <https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kyoiku/>

本紙に関する御意見がありましたら、お寄せください
<無断転載を禁ず>